

Together



ラーメン楽!
店主インタビューはこちら



就労支援 プログラムによる 職場復帰

脳出血を発症し救急搬送。

急性期病院退院後は下関リハビリテーション病院にて就労支援のリハビリを受ける。

職場復帰に向けて様々なリハビリに取り組み、2024年7月に自身のラーメン店を再スタートさせた。

就労支援とは「脳疾患の治療後に、手足の麻痺や言語障害あるいは記憶力低下や集中力低下等のため、治療後直ぐには仕事に復帰できない方」に対して、能力の評価や強化はもちろんの事、職場との連携や必要に応じて退院後も外来リハビリでのサポートを行っていく等、復職に関する支援を行うプログラムです。



ラーメン楽' (らくてん)

〒759-6301 山口県下関市豊浦町大字川棚6842-3

プログラム内容

01 独りで滞りなく行う機能を評価

毎日の生活を、独りで滞りなく行う機能を評価します。洗濯物を干したり、料理を作ったり、銀行に行き、ATMの操作をしたり、買い物に出かけたりする動作となります。



02 バランスと体力を評価

通勤に必要な歩行能力、満員電車の中でも、座っていただけるバランスと体力を評価します。実際に屋外にいき、横断歩道を安全に渡りることができるかや、電車やバスに安全に乗車できるバランス能力があるかなどをみていきます。



03 細かい手の動きを評価

事務作業のための、細かい手の動きを評価します。タイピング動作やパーデューベグとって手指の細かい動きを確認する検査を行います。



04 脳の動きを中心に様々なテストを行い評価

発症前の仕事を、以前と同じように誤りなく、時間内に終わらせるには、理解力、発信力、集中力、記憶力、応用力、予想外の出来事に対する判断力などの脳の動きが重要となります。様々なテストを行い評価していきます。

